

【基本施策3】 障害者がスポーツに親しむ機会の充実

			所属名	スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
22	【重点事業】 障害者を対象としたスポーツ事業の実施				
事業概要	①各体育館等において、障害の特性に配慮したスポーツ 事業（一般公開、教室・講習会、交流機会など）を開催する。 ②障害担当所管の事業と連携し、障害者基本法第9条に基づく障害者週間（12月3日から9日まで）の一環として障害者週間記念事業を実施する。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和6年度実績	①障害の特性に配慮したスポーツ事業 （1）一般公開 碑文谷体育館 104人 （2）教室講習会 駒場体育館 1事業（知的障がい者スポーツ教室） 283人 碑文谷体育館 2事業（スポレク教室・障がいのあるかたのためのエンジョイスports教室） 166人 中央体育館 1事業（ふれあい体操教室） 158人 砧野球場・砧サッカー場 1事業（砧ふれあいスポーツ教室） 0人（台風10号の影響による水害被害のため中止） （3）交流機会 駒場体育館 事業（みんなでダンス・ふれあい広場） 78人 区民センター体育館 1事業（ふれあいスポーツフェスティバル） 30人 碑文谷体育館 1事業（リレーションシップバランスボール） 6人 中央体育館2事業（ふれあいスポーツ広場・スポーツde障がい者交流会） 205人 砧野球場・砧サッカー場 1事業（砧ふれあいスポーツ広場） 0人（台風10号の影響による水害被害のため中止） 碑小学校屋内プール 1事業（ふれあい水泳教室 99人） ②八雲体育館 「めぐろふれあいフェスティバル de スポーツ」 58人				
評価の理由	各施設に在籍する障害者スポーツ指導員や、障害者スポーツ団体、地域団体などが協力し、障害のある人が安全にスポーツに親しめるよう障害者向けの教室やイベント等を実施して、障害者の参加の増大を図った。また、障害のある人と地域住民等の交流機会（イベント）を設けるなど、各施設がそれぞれ事業を実施した。				
課題など	・バリアフリー化が未実施の施設については、施設面での整備が必要である。 ・障害者スポーツの認知度をあげるため、各施設での教室事業やイベント等を積極的に実施していく。 ・障害のある人の運動方法に関する基礎的な知識及び技術を介助者へ提供するため、及び障害のある人への事業を拡充するために、各施設職員の障害者スポーツ指導員資格取得を推奨するとともに、関係団体との連携を継続していく。				

			所属名	道路公園課		
事業No.	事業名					
23	ポニー教室（団体）					
事業概要	運動機能・情緒面の発達、社会参加を意識したプログラム実施により、障害児の自立支援に寄与することを目的とし、碑文谷こども動物広場にて、動物の世話や乗馬など、利用団体に 応じたメニューを実施する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和6年度 実績	ポニー教室（団体）222件、3,143人が参加					
評価の理 由	昨年度から引き続き、多くの団体・利用者が参加している。					
課題など	動物や利用者への暑さ対策を検討していく。					

		所属名		生涯学習課	
事業No.	事業名				
24	ステップアップ講座				
事業概要	知的障害がある参加者が、学習活動（生活学習・サークル活動（運動系）・サークル活動（文科系））を通して、自主的に社会に参加し、より豊かな生活を送るための力を身につける。（15歳～37歳）				
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	無
令和6年度実績	チャレンジャーズスポーツ 参加者17人 新型コロナウイルス感染症の影響はなく、運動サークルと文化サークルの活動は、それぞれ5回ずつ行った。				
評価の理由	第1回から第5回まで、さまざまな運動を通して、参加者同士がコミュニケーションをはかり、楽しみながら体を動かす活動ができた。				
課題など	来年度は、現在の講師が任期満了（2年ごと）のため、新たな講師の依頼先を模索している。				